

2020年7月28日掲載 輸送経済新聞

第一貨物

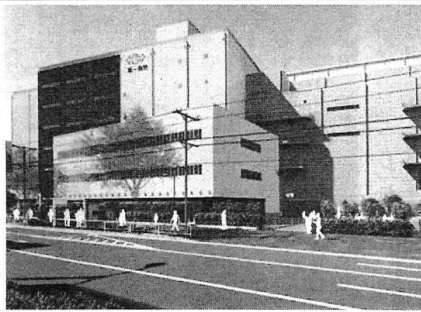
東京支店を移転新築

山形支店、社宅も刷新へ

第一貨物（本社・山形市、米田総一郎社長）は2022年1月、東京・東雲の東京支店を移転・新築しオープンする。山形支店の統合移転、東京・埼玉での社宅建て替えと整備工場の統合移転を含めた「東京プロジェクト」には総額約280億円を投じる。約半世紀のうちに老朽化した職場や住環境を改善。業務効率化と採用競争力の強化につなげる。

（矢田 健一郎）

東京プロジェクトでは、在地は東京都江東区塩浜。階を区分所有する。特横川区東葛西にしゅん工。現・東京支店と社宅の売却代金、売却益を活用。2.5F、大規模再開発地区に建つ7階建て、延べ床面積約13万8000平方メートル。社宅2棟を新築し採用力も高める。「新・東京支店」は今年9月、江戸川区の大型物流施設の2「社宅」は今年9月、江戸



「新・東京支店」はマルチテナント型施設の2階を区分所有する（完成予想図）

0平方メートルで9ストールを備える。最新鋭設備を入れ、業務効率化につなげる。

完全屋内で冬作業しやすく

土する見込みだ。第一貨物は、旗産店である東京支店を含む大規模リニューアルの実現を通して、事業基盤の再構築と物流サービスの安定供給を図る方針。

また「新・山形支店」は現在、山形市内3カ所に分散する山形支店、山形流通ターミナル、区域センターを21年9月をめぐりに統合移転する。所在地は山形市黄金。敷地面積約3万9700平方メートル。物流施設は2階建て、管理棟は3階建てで延べ床面積は約2万5000平方メートル。物流施設は、1階に約3700平方

21年4月、埼玉県八潮市にしゅん工する。5階・一部3階建て。47戸あり1K34戸、2K3戸、2DK・3DK計10戸。

家賃負担が小さいことは同社の魅力の一つで、建て替えにより住環境も改善される。整備工場については、現・東京支店と八潮支店（埼玉県八潮市）にある工場を21年4月、埼玉県吉川市に統合移転する。敷地面積約9100平方メートル、延べ床面積約240

0平方メートルで9ストールを備える。最新鋭設備を入れ、業務効率化につなげる。

また「新・山形支店」は現在、山形市内3カ所に分散する山形支店、山形流通ターミナル、区域センターを21年9月をめぐりに統合移転する。所在地は山形市黄金。敷地面積約3万9700平方メートル。物流施設は2階建て、管理棟は3階建てで延べ床面積は約2万5000平方メートル。物流施設は、1階に約3700平方

方メートル。社宅2棟を新築し採用力も高める。「新・東京支店」は今年9月、江戸川区の大型物流施設の2「社宅」は今年9月、江戸